



NEWS RELEASE

報道関係各位

2016年4月27日

株式会社システムインテグレータ

圧倒的低価格・高性能なデータクレンジング・名寄せを実現!
大幅に機能強化し全画面を一新「SI Omni Channel Services(SOCS)」Ver.2.0をリリース
～オムニチャネル時代のEC・店舗統合管理分析クラウドサービス～

株式会社システムインテグレータ（本社：さいたま市中央区 代表取締役社長：梅田弘之 東証一部：証券コード3826 以下「当社」）は、圧倒的に低価格かつ高性能なデータクレンジング・名寄せ機能など大幅な機能強化とともにユーザーインターフェースを全面改良し、全画面を完全にリニューアルした「SI Omni Channel Services (SOCS:ソックス)」（以下「SOCS」）の最新版Ver.2.0を本日リリースいたしました。

■ 「SOCS」とは

「SOCS」は、「ECサイト」と「店舗」を統合したオムニチャネルを実現するためのクラウドサービスです。ECサイト、店舗それぞれと連携して、「商品」「在庫」「顧客」「ショップ」「ログ」「受注/売上」などのデータを一元管理する仕組みを持っており、小売業におけるECと店舗のデータ統合をクラウドサービスとして高機能かつ低価格で支援します。

また「SOCS」では、ECサイトと店舗、双方の売上UPのためのデータ分析からアクションに繋げるマーケティング、ECサイトと店舗の顧客を統合したCRM (Customer Relationship Management: 顧客関係管理)、商品や在庫の一元管理などの各種オムニチャネルサービスをクラウドで提供しており、「SOCS」に既存システムのデータをつなぐだけでさまざまなオムニチャネルサービスが簡単・便利に実現できるようになります。

■ 最新バージョンVer.2.0概要

「SOCS Ver.2.0」では、「名寄せによる顧客データの一元化」機能を用意するとともに「ユーザーインターフェースの全面改良」を行い、より多くのお客様が使いやすいサービスに一新しました。

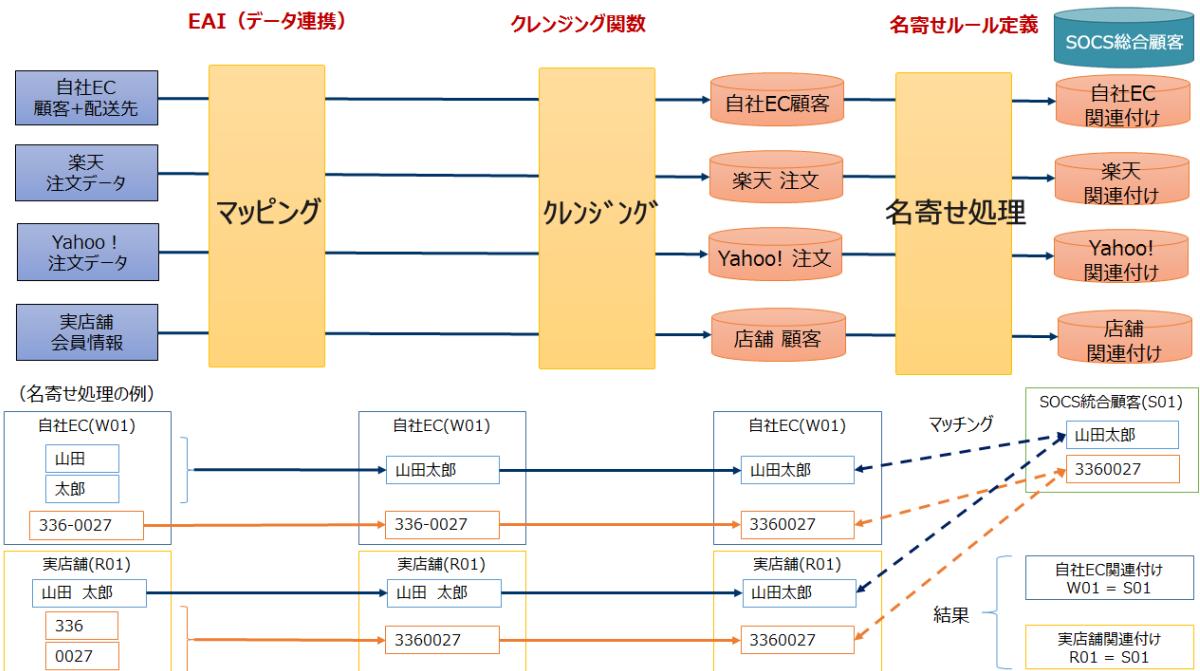
1. データクレンジング・名寄せ機能

CRMを実現するためには、まずはチャネルごとにバラバラな顧客を統一する必要があります。「SOCS」はEAI (Enterprise Application Integration : データ連携) を標準装備しており、様々なデータソースと簡単に接続できます。複数のECサイト、店舗、問い合わせ履歴、など散在している

顧客データと連携して「名寄せ機能」により紐づけて一元化することにより、顧客と1対1のCRMを展開することができます。

【名寄せ処理】

複数の顧客情報を、同一顧客として紐付けする“名寄せ処理”は、(1) データマッピング、(2) データクレンジング、(3) 名寄せ処理、という3つのステップで行われます。



(1) データマッピング

「SOCS」標準のEAIツールにより、柔軟に項目を取得します。取得時は複数の列を結合するなどの処理も行います。上記の例では、姓名の「山田」と「太郎」を結合して「山田太郎」、郵便番号の「336」と「0027」を結合して「3360027」というデータで取り込んでいます。

(2) データクレンジング

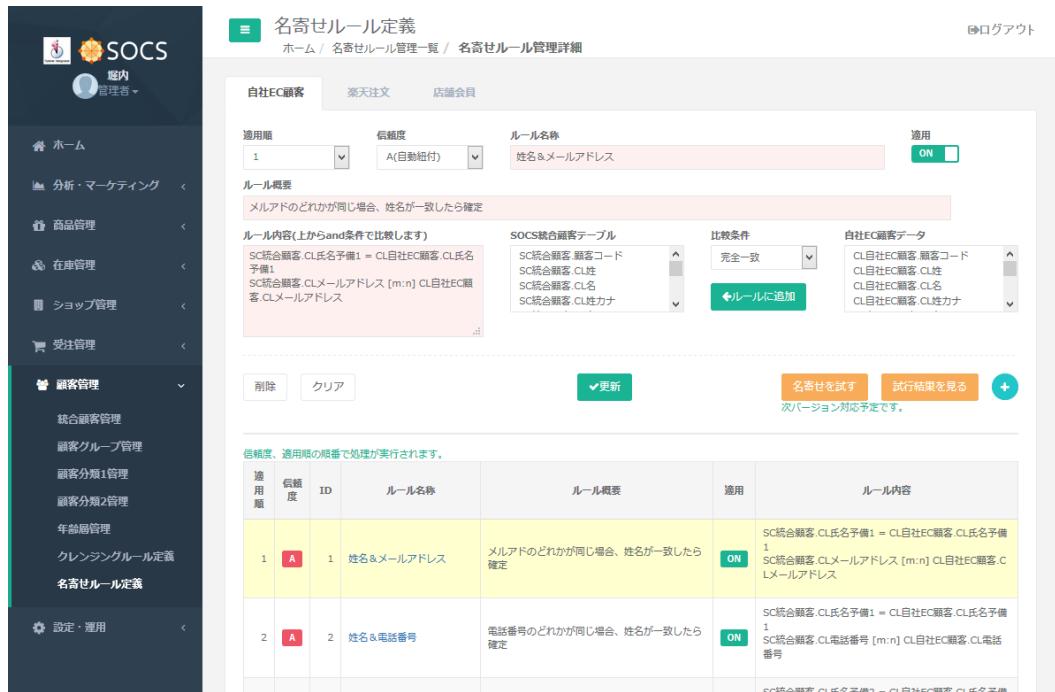
取り込んだ情報を紐付けるため、データクレンジング（記述の揺れなどをなくして一致判定しやすくする処理）を行います。「SOCS」では、顧客情報のマッチングのために必要なデータクレンジング関数を多種用意しており、これらの関数を組み合わせてデータの表記スタイルを統一します。

関数の例	処理例
数字・アルファベットを半角小文字に、かな・カナを全角カナに統一する	sc_conv("さいたま市LAタワー32階プラザ①Ⅱ三") = "さいたま市laタワー32階プラザ123"
文字列を置換する	sc_substi("090-1111-2222", "-", "") = "09011112222"
文字の揺らぎを任意の文字に統一する	sc_ident("斎藤太郎", ["斎藤", "斎藤"], "斎藤") = "斎藤太郎"

(3) 名寄せ処理

クレンジング後のデータに対して、名寄せルールを自由に設定できます。例えば、画面1では、姓名が

一緒に、かつ電話番号のどれかが一致していたら確度A（自動紐付け）、姓名が一緒に、郵便番号が一致していたら確度B（人が確認してから紐付け）と定義しています。



画面1：「名寄せ」の定義画面

名寄せ結果は、「SOCS」の関連付けテーブルに格納されます。商用ECモールでは、テナントに顧客情報を提供してくれないため、注文情報に含まれる名前や住所、電話番号、メールアドレスなどを元に名寄せすることができます。

オムニチャネルの第一歩は“顧客情報の統合”です。名寄せ処理により顧客を一元化して、初めてチャネルを統合した効果的なプロモーションが可能になります。また、顧客にとっても、情報が統合されたことにより1対1の関係性でより嗜好に合うプロモーションを受けることが可能になることによって、お互いの関り合いも深まり顧客満足度が向上し、自社へのロイヤリティが高まります。

2. UI（ユーザーインターフェース：ソフトウェアの操作画面）を一新し、全画面にレスポンシブデザインを導入

オムニチャネルサービスの利用者は、本社システム担当だけではありません。店舗店員や営業担当者、場合によってはお客様自身のスマートフォンなど、さまざまな端末、シーンで利用できてこそ付加価値が高まります。

そこで、「SOCS」はBootstrap（デザインテンプレートの一つ）を採用して全画面リニューアルを実施し、「レスポンシブデザイン」を実現しました。誰でも簡単に利用できるUIを備え、PCのみならずタブレットやスマートフォンの画面に合わせたサイズで表示します。

【ユーザビリティの指針】

常に利用ユーザー視点で考え、画面の部品一つ一つのすべてにこだわりを持ち、直感的、ストレスを感じないユーザビリティを目指しています。操作性、安全性を損なわず一定時間で多くの業務を処理できるスループットを優先し、下記項目を重視しています。

1. 業務効率（機能美）

業務処理が効率良く行えるUIは見た目も操作感も良い。

2. 操作の理解の容易さ（学習性）

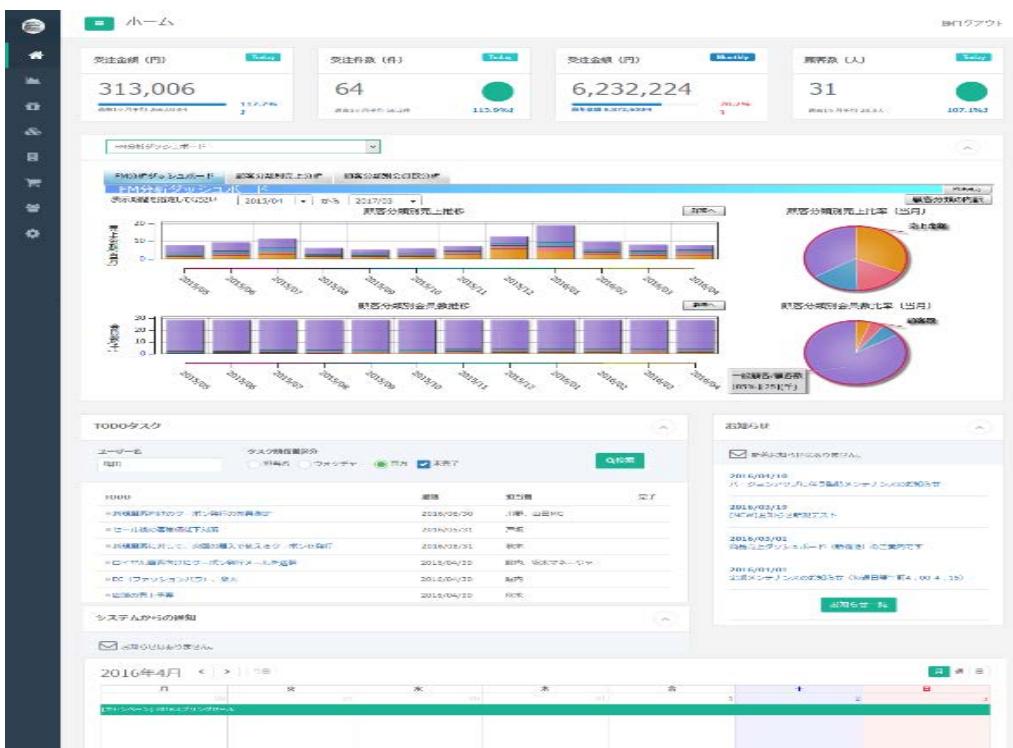
マニュアルを熟読しなくとも、見た目で直観的に使い方がわかる。

3. 誤操作を防止（安全性）

間違いにくいデザインであり、間違ってももとに戻せる。また、誤操作した場合に大きな影響を引き起こす場合は、誤操作防止処置を講じる。

4. ストレスや労力を感じない（満足感）

ユーザーが毎日使ってストレスや労力を感じないことを心がける。



画面2：Bootstrapを使ったレスポンシブルデザイン画面（分析ダッシュボード）

■価格

「SOCS」のサービス価格は月額2万からの低コストで、手間なくスピーディにご利用いただけます。「分析」、「商品・在庫」、「受注・出荷」、「顧客管理（名寄せ）」など利用するサービス単位で、ECサイト数や店舗数に応じた料金体系となっています。名寄せ機能はデータ件数や処理に制限はなく料金を気にせずご利用頂けます。詳細はお問い合わせください。

**■販売計画**

初年度4千万円、3年間で5億円を計画しています。

【システムインテグレータについて】

会社名	株式会社システムインテグレータ
証券コード	3826 (東証第一部)
所在地	埼玉県さいたま市中央区新都心11-2 ランドアクシスタワー32階
設立	1995年3月
代表者	代表取締役社長 梅田 弘之
資本金	3億6,771万円
URL	http://www.sint.co.jp/
事業内容	パッケージソフトウェアの開発・販売、コンサルティング (EC、ERP、プロジェクト管理、データベース開発支援ツール、 e-learning、O2Oマーケティング等)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社システムインテグレータ

EC オムニチャネル事業部 営業部：尾崎、羽田（はた）、佐藤

TEL : 03-5768-7695

E-mail : socs_req@sint.co.jp

※本広報資料の転送／引用は、ご自由にご利用下さい。

※記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。